

一条通病院	旭川市東光1条1丁目	34-2111
旭川病院	旭川市神楽3条4丁目	61-1117
旭川北病院	旭川市大町2条14丁目	53-2111
宗谷病院	稚内市末広3丁目(稚)	24-1117
ながやま医院	旭川市永山5条11丁目	46-2211
一条クリニック	旭川市東光1条1丁目	34-1136
かたくりの郷(老健)	旭川市神楽3条4丁目	63-1165
東光ぬくもりポート	旭川市東光1条1丁目	34-2917
一条ケアセンター	旭川市東光1条1丁目	31-1152
宗谷さわやかポート	稚内市末広3丁目(稚)	24-2223



2016年6月1日
第482号
 発行所
道北勤労者医療協会
 〒078-8341 旭川市東光1条1丁目
 TEL 0166-33-1117
 FAX 0166-32-6925
 E-Mail tomonokai@dohoku-kinikyoo.or.jp
 発行者 八重樫典生

地域になくってはならない存在へ

いのち・平和を守る運動と中期計画の推進を

5月28日 第56回道北勤医協通常社員総会



新役員体制決まる

鈴木和仁新理事長を選出

5月28日(土)大雪クリスタルホールにて、第56回道北勤医協通常社員総会が開催されました。理事會を代表し、山内潔理事長が開会挨拶。その後、新入職員と新任医師紹介、来賓挨拶がありました。

続いて、八重樫典生専務理事が次のように議案の提案を行いました。「今総会は戦争法廃止2千万人署名の大運動、熊本震災の支援活動、参議院選挙直前という緊迫した情勢の中で開催されます。私たちは今、『戦争か平和か』『貧困の拡大か社

会保障の拡充か』が問われる重大な岐路に立っています」と強調。また、熊本震災支援については、「全日本民医連対策本部の要請を受けて、道北勤医協では、医師1名、看護師3名、事務1名を被災地へ派遣しました。困難があれば、いのちのために『行動する』これが民医連の真骨頂です」と報告されました。

2016年度の重点課題として①平和憲法を守り、戦争法を断固廃止する事、②無差別平等の地域包括ケアとまちづくりを進める事、③「中期計画」を確認し、道北勤医協の経営を守る事の三点が挙げられました。

特に経営改善に向けた中期計画においては、「地域住民の健康が危機的な状況の中で、私たちがこの地域でどのような医療と介護を展開していくのか」という点がその核心であります。友の会や住民との対話を大切にしながら、職員一人ひとりにとって働き甲斐のある事業として進めていく事が大切です。困難があっても、この経営課題を乗り越えるためには何のための、誰のための経営活動なのかを深め合う事が重要です」と述べました。

最後に「私たち民医連の存在意義はいのちをなげがしろにするものには徹底的に抗い、目の前のいのちに対しては徹底的に寄り添い守ることにあります。2016年度も道北勤医協が地域になくはならない存在へさらに輝く事を確認し合い議

山内潔理事長退任あいさつ

2002年に、渡辺前理事長からバトンを受け継ぎ、理事長の任についてきましたが、このたび、年齢的、体力的な問題から退任することになりました。



この14年の間、様々な課題に直面してきました。今、道北勤医協が抱えている極めて厳しい経営問題も、職員を信頼し、団結を図り、友の会と共同で取り組めば必ず解決できると確信しています。

鈴木和仁 新理事長あいさつ

この度、道北勤医協第56回通常社員総会にて、山内潔先生に代わり、新しく理事長に選任されました。協会創立40周年、新一条通病院完成など、



新たな節目を迎えた道北勤医協の運営に責任を持つこととなり、身の引き締まる思いです。「道北の医療変革めざして歩み大きく」として神楽の地から始まった道北勤医協は現在、医療と介護の複合体として発展しています。一方で、相次ぐ医療制度・介護制度の改悪の中で、私たちの

新役員紹介

- 【理事長】 鈴木 和仁(新)
- 【専務理事】 八重樫典生(再)
- 【常任理事】 糸田 英基(新)、神長まゆみ(再)、菅原 保明(再)、佐藤 一人(新)、高野 哲哉(再)、辻野 末次(再)、八重樫雅恵(再)
- 【理事】 天池竜彦(再)、五十嵐薫(再)、伊藤哲二(再)、大久保啓介(再)、山本由美子(再)、上ヶ嶋哲雄(再)、小泉洋卓(再)、齊藤俊仁(再)、坂牧勉(再)、佐久間文子(新)、三瓶峰智(再)、田中俊美(再)、谷知己(再)、谷富美恵(再)、千葉達哉(新)、中川直子(再)、仲谷了(再)、西野誠(再)、平間信雄(再)、松崎道幸(再)、百瀬浩(元)、宮永ゆかり(再)、山本由美子(新)
- 【監事】 平野武弘(再)、山田富雄(再)、清水建夫(新)

昨年、道北勤医協は設立40周年を迎え、そして新病院を建設しました。この40年の間、私たちは一貫して地域目線、患者の目線で日常の医療介護の実践をすすめ、同時に地域要求に応える社会保障改善の運動に積極的に取り組んできました。

地域からの道北勤医協への信頼は、まさに地域の方々の命と健康を守るために、必死になって活動

無差別・平等の医療介護実践は困難に直面しており、経営的にも厳しい局面に立たされています。私たち道北勤医協はこれからも、格差・貧困・不平等に苦しむ人々にとつて、なくてはならない存在でありたいと思えます。そのためには、社員・職員・友の会が一体となって、医療・介護・福祉を前進させるための運動を進めること、経営的な

困難を打開するために協会の管理・運営に一層習熟することが求められています。新理事會が先頭に立ち、いのちと暮らし・平和を守る活動を進めること、戦争法廃止・人権としての社会保障の前進を大きく掲げながら、総会方針の全面実践に取り組みことを誓いまして、理事長就任のご挨拶とさせていただきます。

子どもと高齢者が互いに ふれあえる地域作りを進めたい

小児科 久保田知樹 医師に聞く

5月より一条通病院に着任された久保田知樹医師に、これまでの医療活動の経験や今後の抱負等をお聞きしました。

アレルギー治療を中心に患者の立場に立った差別しない医療活動を推進

なるべく新しい知識や実践を学んで食物アレルギーを中心とした診療を行ってきました。

前の職場（勤医協札幌病院）は低所得者、貧困層が多い地域にあったこともあり、診療内容にお金のあるなしでの格差が出ないように心がけてきたつもりです。

診療で印象に残っているのは、治療がうまくいかないケースとして、こちらの意図が通じなかったり、難しい要求をする家族もいました。そういった家庭では子どもに対するDVが行われていることが多く、その親もかなり多い割合でDV家庭



アレルギー専門医の久保田医師

に育ち、小さい頃同じ目にあっていたということ、その家族との長い期間の付き合いの中から判明するケースが多くあったことです。

残りの医師人生を新たな目標でゼロから作ってきたい

今53歳で、医師人生残り3分の1となったところで考えた時に、新しい地域で新しいスタッフとともに自分のできる範囲で、またゼロから新しいものを作ってみたいと考えていました。

着任間もないので、まだまだ道北でどのように診療していくかの具体像はつかめていませんが、10年スパンでみたときに、少子化と高齢化がうまくかみ合うような医療

活動ができないかと漠然と考えています。

子どもと高齢者がふれあえる地域作りを様々な連携で

少子化と高齢化は一体のものであって、互いがふれあえるようになれば、もともと暮らしやすい地域が出来ると思っています。

子どもと高齢者はある意味、別分野ですが、それぞれの現場やノウハウの蓄積を交流することが、お互いに大きな影響を与えていると思っています。そういう意味で、まず保育園との連携を強めていく必要があると思っています。

「多職種連携ワークショップ」 チーム医療を深く学ぶ

チーム医療を深く学ぶ

4月28日、医師、看護師、リハビリ技師、医療相談員、検査技師など様々な職種の職員が集い、患者さんケアを多くの職種が協力して行う「チーム医療」を学ぶ多職種連携のワークショップが開催されました。

今回講師を務められたのは、筑波大学附属病院の春田淳志先生。旭川医大出身の元民医連奨学生であり、大学で医療者教育・専門職連携教育を研究されている方です。

医療現場において職種間の連携の大切さ、コミュニケーションを円滑にするには何が重要かなど

について、ゲームを交えながら学びました。参加者からは、「単純に職種の専門性を発揮するだけでなく、チームの中で果たす役割を意識することが学べました」、「普段とは異なる視点で、職種間連携を認識出来ました」といった感想が聞かれました。患者さんを中心とした

「チーム医療」には何が必要なのかを改めて学ぶことが出来た学習会となりました。（医局課 大久保啓介）

多くの職員が学習を深めた

多くの職員が学習を深めた

全国の民医連が熊本地震被災地支援に結集

道北勤医協も4/25から職員派遣



危険度を示す紙



倒壊寸前の家



地域訪問先の地図

全日本民医連は熊本地震の発生直後から災害対策本部を設置し、被災地支援に全国の民医連職員を派遣しています。

道北勤医協も4月25日から職員派遣を行っています。支援に参加した職員の声をお伝えします。

疲弊した現地職員。避難所や車から出勤も

本部総務部 菅原保明事務

整形外科の芳賀千明医師と一緒に参加しました。派遣先となった熊本民医連くわみず病院では職

員の3分の1が自宅から出勤できずに、避難所や車中泊の車から出勤し、疲弊していました。現地では下から突き上げる余震が続く中、地域の友の会員の全戸訪問を担当しました。建物の玄関先には黄や赤の紙が貼られ危険度区分がされており、被害が大きかった益城町はどこを見ても倒壊した建物があり、心痛む光景でした。

余震で夜が怖い、退院患者が避難所へ

3病棟 鈴木ひろみ看護師

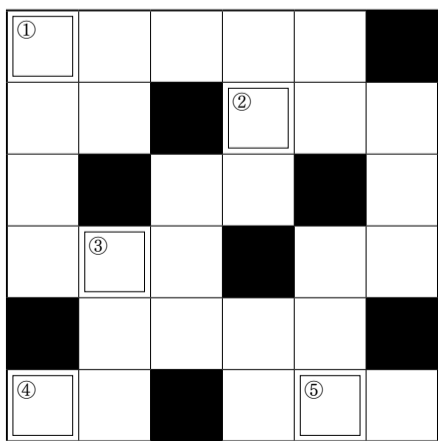
今回被災している職員達の奮闘と全国支援、友の会の結束と行動力、民医連の熱い思いを十分感じられる3日間でした。

「チーム医療」には何が必要なのかを改めて学ぶことが出来た学習会となりました。

「チーム医療」には何が必要なのかを改めて学ぶことが出来た学習会となりました。

「チーム医療」には何が必要なのかを改めて学ぶことが出来た学習会となりました。

クロスワードパズル 326



6～7月が旬、赤い宝石

クロスワードパズル4月号解答

ユキザン コクサキ

オモニシ

モヒシ

ニシガ

ヒシガ

シガ

ガ

カ

バ

シリーズ みんなの医療講座

高齢になると多くの病気を合併し、飲まなければならぬ薬がとて増えます。処方薬が6種類以上になると、副作用を起こす人が明らかに増えると言われています。それは、老化によって薬を分解する肝臓や排泄する腎臓の働きが落ちるため、薬の効果が長引いたり効きすぎたりします。また、血液などの水分、脂肪、タンパク質の量が変化するため体内の薬の分布が乱れやすくなります。さらには、予期しない薬同士の相互作用が起る場合もあります。

このような副作用が起るリスクのあるものは「潜在的に不適切な薬剤」と言われ、処方継続の必要性を精査すべきと欧米では数年前から指摘されています。

特に「処方連鎖」(例



患者さんが多い病気を中心に、リストアップされた薬を紹介し

例えばAという症状に処方したB剤でCという副作用が生じ、それが薬の副作用と思わなくて病気が悪化したと考えるとさらにD剤を処方する)により多くの薬が併用される事もあります。

このような状況に対し、日本老年医学会が昨年「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2

あなたの薬、多すぎませんか? ~高齢者の薬のトラブル~

一条クリニック 佐久間文子

015」を発表しました。その中で、副作用を生じやすい75歳以上及び75歳以下でも要介護状態の高齢者を対象に、処方の見直しを検討すべき薬剤のリストを明らかにしました。

患者さんが多い病気を中心に、リストアップされた薬を紹介し

患者さんが多い病気を中心に、リストアップされた薬を紹介し

特に慎重に使うべき薬		
薬の種類	薬の種類	主な副作用
睡眠薬	ベンゾジアゼピン系	ふらつき・転倒、認知機能の低下
	非ベンゾジアゼピン系	ふらつき・転倒。そのほか、ベンゾジアゼピン系と同様の副作用の可能性あり
抗うつ薬	三環系抗うつ薬	便秘、口渇、認知機能の低下、眠気、めまい
抗血栓薬 (2種類以上の併用)	抗血小板薬	消化管出血、脳出血
	抗凝固薬	消化管出血、脳出血
高血圧治療薬	非選択的α ₁ 遮断薬	立ちくらみ・転倒
	ループ利尿薬	腎機能低下、立ちくらみ・転倒
糖尿病治療薬	非選択的β遮断薬	呼吸器病の悪化、ぜんそく
	スルホニル尿素薬	低血糖
痛み止め・解熱薬	SGLT2阻害薬	低血糖、脱水、尿路・性器感染症
	インスリン製剤	低血糖
	チアゾリジン薬	骨粗鬆症、心不全
	ビグアナイド薬	乳酸アシドーシス
痛み止め・解熱薬	非ステロイド系抗炎症薬	胃潰瘍、腎機能低下

(NHKテキスト「きょうの健康」2016年4月号より) 「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015」

1 1つにつき転倒認知機能低下などが出やすい薬

ベンゾジアゼピン系薬は睡眠薬として、あるいは不安を和らげる薬として処方頻度が高いのですが、ふらつきなどの症状が出やすく可能な限り使用を控えるべきです。ただし、急に中止すると不眠や動悸、吐き気などの離脱症状が出やすいため慎重に減らす必要があります。

3 脳梗塞や心筋梗塞の予防に使う抗血栓薬

血をサラサラにして血管に血栓などを詰まらせないようにする半面、出血を起こしやすく、胃や大腸などの消化管出血や脳出血の危険性が高くなります。

三環系抗うつ薬やパーキンソン病の薬、アレルギー薬、などでも認知症と紛らわしい症状が出る事があります。

4 低血糖を起しやすいつい糖尿治療薬(インスリン製剤や内服薬)

高齢者では典型的な低血糖症状(冷汗、手の震え、動悸など)が分かりにくく、認知症症状に似た症状などが出たりします。低血糖によって心筋梗塞や脳梗塞の危険性も高くなります。

2 食欲低下などの消化器症状が出やすい薬

骨粗鬆症薬で高カルシウム血症になったり、心不全などに処方されるジゴシンによる中毒、ある

相談室の窓

Aさんは80歳の女性、旦那さんと二人で暮らしています。

Aさんはアルツハイマー型認知症と診断され、最近はお財布や通帳を置いた場所を忘れる、内服薬を飲み間違える等の記憶力に問題がはじめています。

認知症になっても安心して暮らせるために

安心して暮らせるために

ある日、いつものようにAさんは一人で散歩に出かけていた所、自宅の帰りがわからなくなり、20分くらいの散歩が1時間過ぎて自宅

にAさんは一人で散歩に出かけていた所、自宅の帰りがわからなくなり、20分くらいの散歩が1時間過ぎて自宅

以上、簡単にいくつか例をあげました。

他の薬でも副作用と思われる症状などが出たら、すぐに主治医に相談しましょう。

多すぎる薬も問題ですが、現在困っている症状に対して出されている薬などを、副作用への不安から自己判断で中断してしまうのはやめましょう(病気が悪化します)。

生活習慣の見直しなどでも薬に頼らずに症状が改善する場合もあるのですが、不安な事がある時には主治医や看護師、あるいはかかりつけ薬局の薬剤師などに気軽に相談して下さい。

きらり☆ナース 看護師の責任と喜びを実感する日々

一条通病院 2病棟 西尾 理香



して同じ2病棟で勤務しています。

準看護師の時との違いは、業務内容が大きく変わったことです。以前は採血や点滴、患者さん対応が中心でしたが、今は先輩看護師の指導のもと、担当部屋を受け持ち、業務を行っています。

担当部屋の患者さんの疾患や健康状態、内服薬の把握、リハビリの内容や進行状態の把握をはじめ、患者さん一人一人が抱える看護問題に対し、

私は3月まで、一条通病院のリハビリ回復病棟である2病棟で准看護師として勤務してました。このたび看護師国家試験に合格し、看護師と

に戻ってきません。旦那さんは心配になり散歩道を探しましたが、行方はわかりません。旦那さんは悩んだ末、警察に通報し、Aさんが自宅から出て2時間過ぎた頃、自力で自宅に戻ってきたので

Aさんのように認知症等で記憶・判断力の低下により自宅に帰れない方

す。季節は秋の肌寒い時期で、Aさんの身体は冷え切り、疲れた表情をしていました。

数日後、Aさんの自宅近くにあるコンビニエンス・ストアに行くとき、Aさんは迷子中に店員さんに「ここはどこ?住所

は…」と立ち寄っていたことがわかりました。店員さんは対応の仕方がわからず困っていたようです。

Aさんのように認知症等で記憶・判断力の低下により自宅に帰れない方

のために、各関係機関警察・市町村・消防署・高齢者介護支援事業所・地域包括支援センター、ハイヤー会社・ラジオ局等)が協力し、搜索する「SOSやまびこネットワーク」という支援システムがあります。連絡先は警

どのような援助が必要なのか考え悩み、看護職の責任の重さを実感する毎日です。

また、電子カルテや他職種と連携など慣れないこと、戸惑うこともありすが、そのような時には患者さんの笑顔やリハビリを頑張る姿に元氣や勇気をもらい、看護師として喜びを改めて感じています。

リハビリ回復病棟の一員として、退院後の生活を見据えた看護を提供できるよう、これから頑張っていきたいと思

抱える看護問題に対し、

抱える看護問題に対し、

友の会だより

各地からのトピックス

会員の顔が見える友の会に

東川友の会総会

4/23

今回の総会は、天人峡「しきしま荘」で友の会員29人の参加で開催されました。

充実の総会・学習・交流

緑ヶ丘友の会総会

4/24

晴天の4月24日、緑ヶ丘友の会総会・交流会が場所は深川市「アグリ工房まあぶ」にて行われ、25人が参加しました。

また、学習会として一条通病院野野広治事務主任から「ピロリ菌について」の講演が行われました。その後は美味しい食事を囲み、充実した交流会となりました。



緑ヶ丘友の会の皆さん

末広の友の会活動推進の新たなステップに!

末広友の会と末広東友の会が合併総会

4/24

4月24日、末広友の会、末広東友の会の合併総会が、東神楽町花神楽にて32人の参加で開催され、2つの友の会が合併し、1000人の会員数となる「末広友の会」として、再スタートをすることが決まりました。

末広地域はこれまで末広、末広東と2つの地域に分かれて活動を行ってきました。しかしこの間、末広東友の会が役員さんの病気等で役員体制が維持できず活動困難になっていたため、末広、末広東の両友の会役員が相談し、2つの友の会の合併



末広の新役員の皆さん



全員の拍手で合併承認

「両地域から選出された新たな役員体制ができました。配布活動を中心としつつも、友の会活動は楽しいことが基本です。で、楽しい友の会活動を旺盛に進めましょう」と挨拶しました。

総会では新役員体制も確認され、新会長に選出された田辺八郎さんは「両地域から選出された新たな役員体制ができました。配布活動を中心としつつも、友の会活動は楽しいことが基本です。で、楽しい友の会活動を旺盛に進めましょう」と挨拶しました。



報告に聞き入る東川総会

笑顔いっぱい交流

美瑛友の会総会

5/19

5月19日、美瑛友の会は美瑛町福祉センターにて、第20回となる総会を開催しました。

春のバスツアー開催!

啓明友の会

5/2

啓明友の会は5月2日、嵐山の北邦野草園に草花鑑賞に向かい、18人が参加しました。

この日は晴天に恵まれ、暖かな日差しを受けた参加者は山を歩きながら、芽吹いた植物や春の花を鑑賞。黄色と青で彩られた花畑に心奪われた様子でした。



啓明友の会の皆さん

また、澄みきった空気の中、展望台からは雪残る大雪の山々がくっきり見え、心も晴れやかにになりました。

その後、市内温泉施設に移動し、山歩きの疲れを癒しました。



森歩く豊岡東友の会

山田富雄会長は「20回目の総会を迎えることが出来ました。現在は会員数も400人を超しました。これからも色々な形で

で健康を守る活動を皆さんで進めましょう」と挨拶しました。

豊岡東友の会

5/16

豊岡東友の会は5月16日、東旭川の21世紀の森にて、健康ウォーキングを行い、30人が参加しました。

2台のバスで現地に向かった参加者は、早く歩きたくてウズウズしている様子。

到着後、入念な準備体操と記念撮影を行い、指導員の先導の下、約2キロのコースに出発しました。



美瑛は体操で認知症予防

命を守る事業に感激しています。貧困格差が拡大する中で万人から支持される取り組みです。喜びの声が聞こえてきます。医療行政にも風穴をあけることになればよいですね。

無料低額診療の大切さ

名寄市 小平 一郎さん

我が家のお隣のお孫さんがピカピカの新1年生。赤ちゃんの時から見ていたので、その姿に感激しました。新1年生の皆様、車に気をつけて元気に通学して下さいね。

5月に引越しました

札幌市 関 美津子さん

5月に住みなれた中富良野から札幌に引越しました。「道北の医療」は続けて読みます。友の会員の皆さんと強い「きずな」でつながっていたいです。

「道北の医療」宅配しています

シリーズ09

友人たちから慕われるまとめ役

豊岡西友の会 眞鍋久恵さん

大変活動的で面倒見がよく、多くの友人から慕われている眞鍋さんは、お住まいの団地内での友の会員のまとめ役になっています。みんなを誘って友の会活動に参加したり、入会の声かけや新たな配布人探しなどにも積極的です。

健康法は早寝早起きと歩くこと。今はどこに行くにも歩き、1日1万歩歩いていた頃もあったそうで、道北の医療の配達も朝5時に起きて1時間かけて32部を配布しています。

定年後は娘さんの育児の手伝いをして、3人の男のお孫さんを大変可愛がったそうです。そのお孫さんたちは大きくなった今でも、眞鍋さんのお顔を見に家を訪れます。「くよくよせず、人のことを悪く言わないこと」。眞鍋さんが常に実行していることで、これがまさにお人柄を現しています。



ご出身は東旭川米飯で、農家の10人兄弟の3番目の子どもとして育ち、成人してからは木材店で職人として男性に負けず劣らず働いて、定年